

エコチル調査における個人情報記録された USB メモリの紛失について

1. 事案の概要

エコチル調査で高知県内の調査を担当している高知ユニットセンター（高知大学医学部内）において、調査参加者の住所、氏名等の個人情報が記録された調査票を電子化（PDF ファイル化）し、これを保管した USB メモリを、執務室内で紛失したことが判明した。紛失した USB メモリには、平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日に出産された 626 組の親子の以下の情報が保管されていた。

母親のエコチル ID 番号・氏名・住所・電話番号

子どものエコチル ID 番号・氏名・生年月日・性別

父親の ID 番号・氏名（父親が参加の場合）

本事案において実施されたような、データ管理システムへの登録とは別に調査票の pdf ファイルを作成して USB メモリ等に保管する操作は、エコチル調査の実施手順には含まれていない。他のユニットセンターにおける状況も確認したが、同様の pdf ファイル化及び保管の操作を実施している機関はなかった。

なお、紛失したメモリは、高知ユニットセンター内のみで使用されていたものであり、センター内での紛失のため、個人情報流出の可能性は低く、現時点において流出は確認されていないが、その可能性を否定することはできない。

2. 高知ユニットセンターの対応

高知ユニットセンターの担当者が最初に紛失に気づいたのは平成 24 年 3 月 21 日であり、その後 USB メモリを捜し続けたことにより報告が遅れ、高知ユニットセンターからコアセンターに連絡があったのは 12 月 7 日であった。

その後、高知ユニットセンターでは、参加者に対し、お詫びと被害の有無の確認のための手紙を送るとともに、12 月 13 日、一般の方々へのお詫びと報告のための記者会見を開催した。

高知ユニットセンターの対応状況については、別紙のとおり環境省に報告されている。

3. 環境省及びコアセンターの対応

環境省及びコアセンターでは、12 月 13 日、高知ユニットセンターと同時に、本事案について報道発表を行った。

また、環境省より 12 月 13 日付で、コアセンターより 12 月 13 日及び 12 月 18 日付で、高知を含む全国 15 カ所のユニットセンターに対し、エコチル調査の実施手順に反して個人情報を含む書類の電子情報化を行わないことなど、個人情報の管理に万全を期すよう指示した。高知ユニットに対しては、12 月 20 日付で、原因究明の結果、エコチル調査に与える影響、影響軽減策及び再発防止策についてご報告を求めた。さらに、コアセンターにおいて、個人情報の内容に応じた具体的な管理規則を作成中である。

平成 25 年 2 月 1 日

環境省総合環境政策局
環境保健部環境安全課
環境リスク評価室長
戸田 英作 様

エコチル調査高知ユニットセンター
センター長 菅沼 成文



個人情報記録された USB メモリ紛失について

平成 24 年 12 月 20 日付公文書(環保安発 121220300 号)でのご指示を受け、下記の通りご報告申し上げます。

1. 原因究明の結果
2. エコチル調査に与える影響
3. 影響軽減策及び再発防止策

ご指導いただきましたことを厳粛に受け止め、ユニットセンター一丸となり今後の高知でのエコチル調査継続に取り組む所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

1. 原因究明の結果

本事案の主問題点は、1) 個人情報の PDF ファイルの作成及び USB メモリへの記録、2) 公表の遅延、の 2 点である。詳細は下記の通り。

1) 個人情報の PDF ファイルの作成及び USB メモリへの記録

会計報告に備えて資料を準備しておくため、進行管理マニュアルにはない高知ユニットセンター独自のオペレーションとして、氏名調査票をスキャンしていた。また、スキャナーがパソコンに接続されていなかったため、スキャンした情報をパソコンに移すために USB メモリを使用した。

2) 公表の遅延

報告遅延の主要因は、担当者が責任を感じて一人で捜していた期間が長かったこと、その USB メモリはユニットセンター事務局から持ち出すような使用方法でなかったことにより、事務局内にあると信じて、9 月 12 日以降は事務局全員で捜索を重ねていたことにある。また、担当者に多くの業務が集中していたことも遠因である。

2. エコチル調査に与える影響

個人情報紛失によるエコチル調査への信頼感・安心感の低下に伴い、高知県内及び全国の調査地区における同意撤回の増加・同意率及びフォローアップ率の低下、また協力医療機関や自治体等、関係機関との連携に支障が生じることが懸念された。

高知県に於いては、1 月 31 日現在、本件が原因となった同意撤回は 13 件である(該当者 6 名・非該当者 7 名)。1 月 12 日以降、新たな同意撤回がないことから、今後発生の見込みは少ないと予想される。一方、12 月・1 月の同意数はそれぞれ 208 名・212 名で、5 月の地域拡大後から 11 月末までの月平均の 194 名を上回り、1 月 30 日には母親の同意数が計 4000 名となった。12 月・1 月とも同意率は 7 割を超え、公表前との差は見られなかったことから、高知県におけるリクルート業務に対する影響は軽微と思われる。フォローアップ率については、イベントなど参加者のモチベーションが上がるような活動を強化しつつ、本事案の影響の有無を引き続き注意深く観察する。

尚、センター長による個別訪問等、後述の影響軽減策の実施により、関係機関との連携は維持されている。

3. 影響軽減策及び再発防止策

<影響軽減策>

- 個人情報紛失該当者（母親 626 名・父親 320 名）に対して手紙を発送し、問い合わせ先を周知、また被害状況調査のための質問票を配布。（12 月 12 日）（資料 1：「個人情報に関する現状調査」集計結果）
- 記者会見にて一般に向けてお詫びと報告。同時に高知エコチル調査及び高知大学ホームページにてお詫び文掲載。RC より協力医療機関に書面にてお詫びと報告。記者会見後、協力医療機関・運営協議会委員等関係者にセンター長・教員・研究員より連絡。センター長より各ユニットセンターにお詫びと報告。高知ユニットセンターの RC ヘクレーム対応等のマニュアル配布。（12 月 13 日）
- 11 月末までの同意取得者のうち、該当でない参加者（母親 2829 名・父親 745 名）に手紙発送。（12 月 14 日）
- 12 月 1 日から 12 月 13 日までの同意取得者（母親 87 名・父親 29 名）に対し手紙発送。（12 月 19 日）
- 各協力医療機関にて、RC による参加者へのお詫び・状況説明・手紙到着の確認。（12 月 13 日～）
- 平成 25 年 1 月 31 日までに質問票が返信された 428 名のうち、コメント欄の質問等に基づいて 60 名に電話にて個別対応。電話連絡のつかなかった 1 名についてはお詫びと説明の手紙を平成 25 年 2 月 1 日に発送。
- センター長・研究員による協力医療機関・自治体・運営協議会委員の訪問。（記者会見後～平成 25 年 1 月 15 日）
- 運営協議会委員に対し、「個人情報に関する現状調査」の途中経過報告。（12 月 21 日）
- 該当者を含む全参加者及び関係各機関に対し、「個人情報に関する現状調査」の最終報告の実施予定。（平成 25 年 2 月）
- 紛失した USB メモリの捜索継続。
- 過去に USB メモリとパソコンに保管してきたスキャンファイルの全削除。（12 月 13 日）

<再発防止策>

- エコチル調査全体にて USB メモリ使用禁止及び個人情報管理の強化。（資料 2：学長による HP お詫び文・今後の指針 <http://www.kochi-u.ac.jp/information/2012121300011/> より）
- 進行管理マニュアルを遵守し、独自のオペレーションによる氏名調査票のスキャン廃止。
- 高知大学全体としての個人情報管理徹底の注意喚起。（資料 3）
- USB メモリ紛失後に開設した、よりセキュリティの高い高知ユニットセンター朝倉データ管理室における個人情報の集約管理の継続。
- 迅速報告を目指し、ユニットセンター事務局の週次定例会へのセンター長の毎回出席。「トラブル発生時は 3 時間以内に報告」という明確な指針の決定。
- 現状報告及び今後の方針の周知徹底のため RC 研修開催。（平成 25 年 1 月 6 日。）

以上

資料 1： 「個人情報に関する現状調査」集計結果（回収率 45%。平成 25 年 1 月 31 日現在）

資料 2： 学長による HP お詫び文・今後の指針

資料 3： 高知大学全教職員向け注意喚起「個人情報管理の徹底について」

「個人情報に関する現状調査」集計結果（平成25年1月31日現在）

① 情報漏えいが疑われる事態の有無

		母親	父親	回答者不明	合計
発送数		626	320		946
回収数		257	127	44	428
回収率（回収数÷発送数）		41%	40%		45%
内 訳	有り	9	1	1	11
	無し	240	117	39	396
	どちらでもない	8	9	4	21

※「有り」と答えた方の内訳：

非通知（複数回）： 3件

（事例①：月に3,4回、事例②：何度か

事例③：月に1回、週に3,4回）

非通知（単回）： 2件

（事例①：8月下旬に2回、事例②：12月に1回）

ワン切り：

1件

セールスの電話：

1件

英会話教室の勧誘：

1件

PCでの副業の勧誘：

1件

カードローン会社からの案内：

1件

コメント無し：

1件

＜現状調査集計結果の考察＞

情報漏えいが疑われる事態について、「有り」と答えた事例は428件の回答中11件と少ない上に、報告された事例の間に共通点も見られないことから、本件による情報漏えいの可能性は低いと考えられる。

② 調査票コメント内訳

		母親	父親	回答者不明	合計
コメント回答人数		133	46	26	205
コメント率（コメント回答人数÷調査票回収数）		52%	36%	59%	48%
コ メ ン ト 件 数	原因究明・再発防止・以後の注意についてのご意見	63	24	12	99
	報告遅延についてのご指摘	46	12	7	65
	大変遺憾	37	7	6	50
	紛失自体ありえない・管理がずさん・危機意識低い	20	8	4	32
	今後が不安・子どもが心配	18	3	2	23
	裏切り・信用できない	14	2	3	19
	有事の対応についてのご質問	11	4	0	15
	激励・応援のコメント	10	4	1	15
	協力しなくなってきた	9	3	1	13
	USBメモリ使用についてのご指摘	7	3	1	11
	今後の情報提供についてのご意見	5	3	1	9
	その他のご意見	50	18	15	83
	総数（複数回答可）	290	91	53	434

③ 同意撤回内訳

	同意撤回 相談数	同意撤回		完全同意撤回		計
		該当者	非該当者	該当者	非該当者	
現状調査による対応	7	3	0	1	0	4
電話による問い合わせ対応※	5	2	2	0	0	4
医療機関での対応	-	0	5	0	0	5
計	-	5	7	1	0	13

※電話問い合わせ総件数： 9件

個人情報記録されたUSBメモリの紛失について（お詫び）

平成24年12月13日
国立大学法人高知大学長
脇口 宏

平成 22 年 4 月 12 日、高知大学医学部は、環境省が計画した「子どもの健康と環境に関する全国調査（エコチル調査）」を実施するための「高知ユニットセンター」（医学部環境医学内に設置）として認定されました。この調査は、環境変化が子どもの健康に及ぼす影響を明らかにするため、親子で参加していただくものです。高知ユニットセンターでは、3年間で 6,000 組（日本全国では 10 万組）の参加を目標に平成 23 年 1 月 24 日から調査を開始しています。

この度、高知ユニットセンターにおきまして、本調査参加者の個人情報を記録したUSBメモリを紛失する事態が生じました。

紛失した USB メモリの中には、平成 23 年 7 月 1 日～平成 23 年 11 月 30 日までの間に生まれた 626 組の親子に関する個人情報が含まれていました。

本学では、個人情報の取扱いに関する規則を定め、教職員に周知を図るなど個人情報の適切な管理に努めておりましたが、このたび個人情報が入った USB メモリを紛失する事態となりましたことを遺憾に思うとともに、関係の皆様方に多大なご迷惑とご心配をおかけしましたことを深くお詫び申し上げます。

1. 事実の経過

- 1) 高知大学医学部内・エコチル調査高知ユニットセンターにおいて、平成 24 年 3 月 21 日、エコチル調査で収集した 626 組の親子に関する個人情報が記録された USB メモリが無くなっていることに気付きました。

同日から 1 週間ほど前に、平成 23 年 7 月 1 日から平成 23 年 11 月 30 日までに出生した子とその親 626 組の調査票をスキャンする作業を行っており、そのデータを専用コンピュータと USB メモリに保存後、保管棚で保管しているつもりでした。しかし、同日に、平成 23 年 12 月 1 日以降に出生した親子の調査票のスキャンを行うために保管棚を確認したところ、USB メモリがないことに気付きました。なお、この USB メモリには、ファイル暗号化やパスワードロックの設定は行っていませんでした。その後もスタッフ全員で捜しましたが見つからず、現在のところ発見されていません。

- 2) 現時点で、本件の個人情報が第三者に流出したという情報や不正に使用された事実は確認されておりません。
- 3) 調査票の原本は施錠した金庫に保管しております。

2. 個人情報の内容

平成 23 年 7 月 1 日から平成 23 年 11 月 30 日までの間に出生したエコチル調査参加者 626 組の親子に関する下記の情報。（お母様 626 名・お子様 630 名・お父様 320 名。）

- ・ お母様とお子様それぞれのエコチル ID 番号・氏名（お父様参加の場合はお父様の ID 番号と氏名）
- ・ お子様の生年月日と性別
- ・ お母様の住所・電話番号

3. 関係者に対する情報提供

- 1) 対象者 626 組に対して、12 月 12 日に、お詫び文書及び被害の有無を確認するための文書を送付させていただきました。
- 2) エコチル調査開始から平成 24 年 11 月 30 日までに同意をいただいた参加者で 626 組に該当しない皆様に対し、12 月 14 日までに、お詫びと共に該当者でない旨を伝える手紙を発送させていただきます。

4. 再発防止に向けた取組み

- 1) エコチル調査の個人情報管理では、スキャンとコンピュータを連動させて USB メモリの使用を中止させました。
- 2) 調査票は施錠したアタッシュケースで運搬することにしました。
- 3) 個人情報の管理体制を再点検し、再発防止を講ずると共に、教職員に対して個人情報の適正な管理の徹底を図るよう周知、注意喚起を行います。
- 4) 研修等を通じて、教職員に対して個人情報の適切な取扱いについて、法令順守を徹底してまいります。

平成 24 年 12 月 20 日

教職員各位

理事（総務担当）

櫻井 克年

個人情報管理の徹底について（注意喚起）

最近本学も含め複数の国立大学において、以下のような個人情報管理における不祥事が発生し、新聞紙上等で報じられております。

このような事態が発生した場合は、高知大学としての社会的責任を問われるとともに、当該教職員にとっても処分等の対象となります。

については、常日頃から個人情報の管理においては、十分注意するとともに、特に、以下の点にご留意願います。

【留意事項】

- ① USBメモリを使用する場合は、パスワードを設定すること
- ② 個人情報を学外に持ち出さないこと
- ③ その他「高知大学情報セキュリティポリシー」を遵守すること
※グループウェアのライブラリ ⇒ 情報セキュリティ関係 ⇒ 01 セキュリティポリシー

【国立大学の最近の事例】

大 学 名	事 件 概 要
高知大学	教員がエコチル調査関係の個人情報を含むUSBメモリを研究室で紛失（H24. 12. 13）
広島大学	教員が学生、教員、学外関係者等の個人情報を含むUSBメモリを帰省中に紛失（H24. 11. 16）
千葉大学	教員が海外出張中に学生に関する個人情報の入ったノートパソコンを紛失（H24. 10. 17）
金沢大学	教員が学会で海外出張中、バッグの盗難にあい、入っていたノートパソコンに学生、教員の名簿が入っていた。（H24. 9. 28）
長崎大学	医学部附属病院の医師が入院患者の情報が保存されたハードディスクを院内での引っ越し作業中に紛失（H24. 5. 7）

※ 事件概要の日付けは公表日を示す。